

CONTENTS

PROFILE

三菱UFJリースのプロフィール

- 2 三菱UFJリースグループの事業
- 4 三菱UFJリースグループの価値創造プロセス
- 6 三菱UFJリースグループの事業展開
- 8 進化を続ける三菱UFJリースグループのビジネス
- 10 財務・非財務ハイライト

STRATEGY

戦略セクション

- 12 トップメッセージ
- 20 中期経営計画の概要
- 22 社会的課題の解決
- 24 三菱UFJリースグループの財務戦略
- 26 三菱UFJリースグループのリスクマネジメント
- 28 部門別に見る三菱UFJリースグループ
 - 28 カスタマービジネス
 - 30 エリアカンパニー／マシナリーカンパニー
 - 32 航空事業部門
 - 34 不動産事業部門
 - 36 ロジスティクス事業部門
 - 38 環境・エネルギー事業部門
 - 40 ヘルスケア事業部門
 - 42 インフラ・企業投資事業部門

MANAGEMENT

マネジメントセクション

- 44 中長期的な企業価値向上に向けたガバナンス強化
- 54 ビジネスの進化を支える人材への取り組み
- 60 環境への取り組み
- 62 社会への貢献

DATA

データセクション

- 64 経営成績および財政状態
- 66 11カ年サマリー
- 68 グループネットワーク
- 70 企業情報
- 71 IR活動

編集方針

三菱UFJリースは、ステークホルダーの皆さまに当社グループの経営および企業活動全般を分かりやすくお伝えするため「コーポレートレポート」を発行しています。「コーポレートレポート2020」では、国際統合報告評議会(IIRC)*が提示した「国際統合報告フレームワークVer.1.0」を参考にしながら、当社グループの「企業活動の全体像」や「持続的な企業価値創造に向けた取り組み」を紹介しています。

また、中期経営計画における成長戦略の解説や当社グループの経営に影響を与えるESG(環境・社会・ガバナンス)情報の開示など、重要性の高い内容で構成しています。

今後とも、当社グループの活動についてより一層ご理解を深めていただけるよう、皆さまと当社グループをつなげるツールとして、コーポレートレポートを進化させてまいります。

※ 国際統合報告評議会(IIRC)は、規制者、投資家、企業、基準設定主体、会計専門家およびNGOにより構成される国際組織。

見通しに関する注意事項

本レポートに記載されている戦略、計画、業績などには将来の見通しや予測が含まれており、将来に関する記述は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。さまざまな重要な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。

“ アセットビジネスの プラットフォームカンパニー ”

三菱UFJリースの強みであるリース事業によって蓄積してきた「アセットに対する知見」をベースに、「顧客基盤」「財務基盤」を活用し、アセットホルダーとして「アセット価値創出力」を活かしたビジネスを積み重ねていくことで、アセット価値を収益化していく「アセットビジネスのプラットフォームカンパニー」を目指します。